



2025年8月4日

各位

会社名 ポート株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 春日博文
(コード番号：7047 東証グロース・福証 Q-Board)

問い合わせ先 常務執行役員 辻 本 拓
財務 IR 部長

TEL. 03-5937-6466

投資家Q & A 2025年7月

2025年7月に機関投資家様・個人投資家様より頂戴した主なご質問とその回答についてレポートいたします。

本開示は投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーの観点より、毎月第2営業日に開示を予定しております。また、理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

Q. 2026年3月期の通期業績予想では、売上収益28,000百万円（前年比+28%）、EBITDA4,400百万円（前年比+21%）と予測されています。これらの成長率の主な前提について教えてください。

A. 2026年3月期は、新中期経営計画「PORT ODYSSEY800」の初年度として、増収増益を前提に将来利益の獲得を最優先とする方針です。2026年3月期の将来利益は、2,810百万円（前年比+50%）を計画しており、新中期経営計画最終年度（2030年3月期）におけるEBITDA130億円、ストック利益 EBITDA 比率 40%の達成に向け、初年度から将来利益の獲得を最も重視してまいります。前年比成長率が売上収益+28%増収に対して、EBITDA+21%増益と売上収益の成長率よりも低くなっている主な要因は、将来利益の獲得を最優先し、将来利益前年比+50%としている点になります。

主力事業である人材領域とエネルギー領域では、それぞれ売上収益+30%以上の成長目標を掲げております。エネルギー領域では、将来利益の積み上げを一層強化し、積極的なマーケティング投資や電力・ガス等の新規契約（引越し需要）の獲得だけでなく、切り替え需要の取込みによるターゲット層の拡大等を通じた総成約件数の拡大を図ります。また、新規事業である系統用蓄電所開発の検証も継続的に推進してまいります。

人材領域では、就職活動の早期化に伴う人材紹介の辞退率増加は保守的に考慮しつつも、新卒紹介市場におけるシェア No. 1 を目指し、強固な会員基盤を活用した人材紹介サービスを中心に高い成長を追求してまいります。

Q. 新中期経営計画資料の成長戦略に「ストック利益への転換」と記載されていますが、具体的に収益構造がどのように変わったのか教えてください。

A. 当社が展開する成約支援事業のうち、2024年3月期よりエネルギー領域、新規領域では従来ショット型の契約形態が中心だったところから、一部の契約案件においてはストック型の契約形態で成約支援を行っております。

具体的には以下の通りです。

【エネルギー領域】

電力の成約支援において1成約で獲得した場合のショット利益よりも、ストック利益の累計（毎月のストック売上から、月次解約率、継続的にかかるコスト、割引率等を考慮し、想定される契約期間で算出）のほうが、1.2~1.5倍以上になる案件をストック型の契約形態で成約しています。これにより、ユーザーの月々の電気利用料（または使用量）に応じた利益を、毎月当社のストック利益として計上しています。

【新規領域】

2023年9月19日付公表の「新生フィナンシャル株式会社とカードローン事業レイクにおけるストック型収益モデルでの業務提携契約の締結に関するお知らせ」の通り、新生フィナンシャル株式会社のカードローン事業「レイク」におけるストック型収益での業務提携を締結しております。本提携は業界でも稀有な取組みとなり、当社からレイクへの送客については、貸付残高をベースにしたプロフィットシェア形式を導入しております。

これらの取り組みにより、当社の収益構造は継続的・安定的に積み上がるストック型の収益比率を高める方向へと大きく転換しております。

Q. 今後のM&Aや大規模投資における財務レバレッジの具体的な許容範囲はどの程度とお考えでしょうか。また、現在の自己資本比率等の状況を踏まえ、将来的なエクイティファイナンスの可能性について、現時点での考えをお聞かせください。

A. 親会社所有者帰属持分比率（自己資本比率）については、ベンチマークを30%程度としており、M&A等による一時的な減少は許容する方針です。のれん／親会社所有者帰属持分比率については、ベンチマークを100%程度としており、こちらもM&A等による一時的な超過は許容する方針です。いずれの指標も、現状ではベンチマークを上回る水準を維持しております。

Net Debt/EBITDA倍率については、2025年3月末時点では1.95倍となっており、収益性の向上により健全な財務基盤を維持し、当社の借入余力は十分にある状況であると考えております。

今後の成長投資に向けては、現在の健全な財務基盤と十分な借入余力を背景に、まずは銀行借入や内部資金、自己株式の活用等を通じて事業拡大を推進していく考えです。エクイティファイナンスにつきましては、これらの手段を優先的に活用した上で、必要に応じて検討する位置づけであり、現時点では優先度は低いと考えております。

会社概要

会社名 : ポート株式会社
代表者 : 代表取締役社長 CEO 春日博文
所在地 : 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー5階
設立 : 2011年4月
資本金 : 2,421百万円（2025年3月末時点）
URL : <https://www.theport.jp/>

■本件に関するお問い合わせ

ポート株式会社 : IR担当
コーポレートサイト : <https://www.theport.jp/>
E-mail : ir@theport.jp TEL : 03-5937-6731

※当社ではリモートワーク制度を導入しております。
お電話が通じにくくなる場合がございますので、
お問い合わせはE-mailまでお願いできますと幸いです。